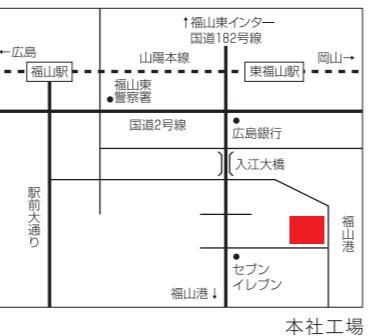


会社沿革

1925(大正14)年 1月 故松本末太郎初代社長の正藍抜染法ほか多数の特許権に基づき
綿布捺染工場として会社を設立
1939(昭和14)年 6月 内外物産株式会社を設立して、電子材料、電線、工業用品の販売業を開始
1946(昭和21)年11月 松栄株式会社を設立して、損害保険業務と不動産事業を開始
1948(昭和23)年 2月 中国紡織株式会社を設立、織布部門に進出(福山市緑町1番51号)
大阪営業所を開設(大阪市西区鶴南通2丁目31番地 信濃橋ビル)
東京営業所を開設(東京都中央区日本橋小舟町2丁目2番地)
8月 天皇陛下(当時皇太子殿下)、山陽染工株式会社本社工場に行啓される
11月 猪名川染工株式会社を吸収合併し、山陽染工株式会社猪名川工場とする
1959(昭和34)年 4月 ダイヤ石油株式会社を設立して、石油の販売業を開始
1965(昭和40)年 2月 財団法人松本育英会を設立して、高校生と大学生に奨学金の貸与
1968(昭和43)年 3月 松本卓臣社長就任
8月 米国ハスケル社と技術提携を行い芯地加工を開始
9月 日本ハスケル株式会社を設立して各種の芯地製品の販売を開始
1970(昭和45)年 1月 福山市一文字町に新工場を建設し、接着芯地加工を開始
1987(昭和62)年 10月 本社新工場起工式・建設着工
本社新工場竣工落成、本社工場及び猪名川工場を移転統合して、
最新鋭装置を導入し染色業の近代化に着手し、
操業開始(福山市一文字町10番地)
1988(昭和63)年 3月 山陽日生瓦町ビル(地下1階地上10階建)竣工落成
(大阪市中央区瓦町2丁目2番7号)
松本茂太郎社長就任
1991(平成3)年 6月 山陽第2ビル竣工式・落成式
1992(平成4)年 3月 山陽第1ビル竣工式・落成式
1993(平成5)年 3月 香港ハスケル設立
1995(平成7)年 7月 シンガポールハスケル設立
1995(平成7)年 9月 バッドドライ染色機更新
2006(平成18)年 1月 日本最大の纖維展示会ジャパンクリエーションに初めて出展
2007(平成19)年12月 貨流ボイラー(天然ガス、17.5トン)導入
2009(平成21)年 3月 ヒートセット機導入
2009(平成21)年 7月 2011(平成23)年 6月 松本壯一郎社長就任
2013(平成25)年 4月 X SANYOコラボレーションブランドを立ち上げ
2014(平成26)年 8月 独自技術「インディゴ段落ち抜染」を開発
2015(平成27)年 3月 株式会社角南染工場を子会社化
2015(平成27)年12月 株式会社角南染工場を山陽染工児島ファクトリー株式会社へ社名変更
2018(平成30)年 1月 山陽日生瓦町ビルのビル名を山陽染工瓦町ビルに改称
2018(平成30)年 5月 山陽染工元町ビルを竣工



航空写真



本社工場



大阪営業所



東京事務所

会社概要

商号 山陽染工株式会社
大正14年1月7日(1925年)
資本金 9,800万円
従業員数 91人
本社工場 広島県福山市一文字町6番1号
電話(084)953-2828(代表) FAX(084)953-0330
工場敷地面積53,000m²/建築面積25,000m²
大阪営業所 大阪府大阪市中央区瓦町2丁目2番7号(山陽染工瓦町ビル9階)
電話(06)6231-8901(代表) FAX(06)6231-7898
東京事務所 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9滋賀ビル707
電話(03)6913-8090 FAX(03)6913-8119
山陽第1ビル 広島県福山市三之丸町10番18号(7階建)
山陽第2ビル 広島県福山市三之丸町9番16号(6階建)
山陽染工瓦町ビル 大阪府大阪市中央区瓦町2丁目2番7号(地下1階、地上10階建)
主たる取引先 双日ファッショングループ(株) 倉敷紡績(株) 日清紡テキスタイル(株)
田村駒(株) 菊友商事(株) スタイレム(株) その他
主たる取引銀行 中国銀行福山支店 商工中金福山支店 みずほ銀行福山支店
三菱UFJ銀行瓦町支店 その他
月産量 染色品・150万m²/晒品・50万m²/合計200万m²

関連会社

内外物産株式会社
設立/昭和14年6月20日 資本金2,000万円
本社/大阪府大阪市中央区瓦町2丁目2番7号
電話(06)6231-2615(代表)
事業/マテリアル、電子部品等の輸出入卸販売

中国紡織株式会社
設立/昭和23年2月21日 資本金3,000万円
本社工場/広島県福山市一文字町6番1号
電話(084)953-3880(代表)
事業/デニム織物の糸染・織織及び炭素織物加工

ダイヤ石油株式会社
設立/昭和34年4月8日 資本金3,500万円
本社工場/広島県福山市一文字町6番1号
電話(084)957-1234(代表)
事業/石油製品、カーメンテナンス商品、
中古車の販売及びレンタカー、カーリース事業

山陽染工児島ファクトリー株式会社
設立/昭和41年12月23日 資本金1,600万円
本社工場/岡山県倉敷市児島上の町4丁目3番9号
電話(086)472-3148(代表)
事業/纖維織物染色整理業

山陽商事株式会社
設立/昭和46年10月1日 資本金1,000万円
本社/大阪府大阪市中央区瓦町2丁目2番7号
電話(06)6231-2615(内外物産内)
事業/不動産管理業

松栄株式会社
設立/昭和21年11月20日 資本金1,500万円
本社/広島県福山市三之丸町10番18号
電話(084)922-3900(代表)
事業/損害保険代理業務と不動産業

福山瓦斯株式会社
設立/明治43年4月11日 資本金25.875万円
本社/広島県福山市南手町2丁目26番1号
電話(084)931-3111(代表)
事業/都市ガス事業及びガス機器の販売

財団法人松本育英会
設立/昭和40年2月18日
事務所/広島県福山市三之丸町10番18号
電話(084)922-0393(代表)
事業/高校生並びに大学生に奨学金の貸与

山陽染工株式会社

CORPORATE GUIDE



CROSS BY CLOTH

ごあいさつ

創業以来90年以上の経験と技術により名実共に絶対的地位を築き、日本でも有数の加工工場である、との評価を頂いております。原反状態から製品納入までを弊社一貫で行うことができるのが特長です。無地染め、プリント、晒など、総合的な織物染色製品の製造と品質の向上に努め、時代やお客様のニーズに応えるべくたゆまぬ研究と努力を続けております。また環境に優しい企業であるべく大幅なCO₂削減を可能にする天然ガスボイラーの導入、環境負荷の低いサンシードプリントなど環境と共に存していく事が可能な染工場を目指しております。

製品加工の特長

その1 インディゴ染め・抜染加工

もともと江戸時代より備後紺の産地であった福山地区は、染めの技術が発達しました。備後藍紳株式会社として創業した弊社は、インディゴ染めの技術を発展させ、生地染用のインディゴ連続染色機を独自開発。抜染や着色抜染など連続加工ができるようになつたことで、大量生産を実現し大幅なコストダウンに成功。また、インディゴプリントの分野においては、現在世界有数の加工工場としての特殊性を保ちながら、さらなる高級化のため日々研究を重ねております。

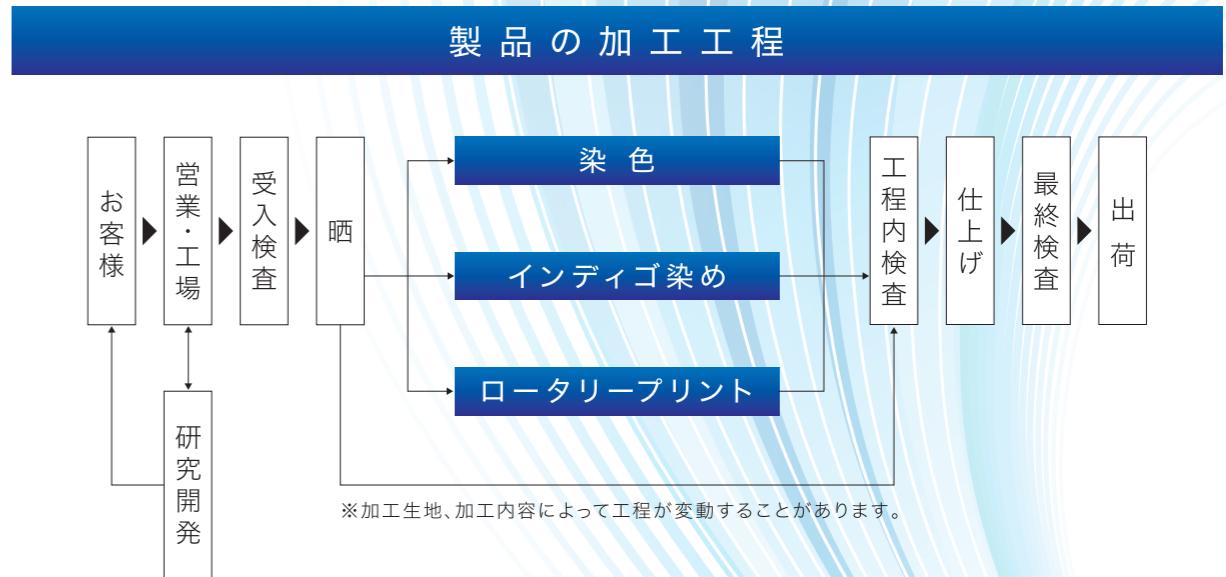


その2 特殊プリント

お客様の様々なニーズに幅広くお応えするため、日々商品開発に努力しています。オイル・パラフィン等の「風合いコーティング加工」、生地を傷めることなく色落ち感を演出できる「ユーズド・スモーク加工」、また染料メーカーと協力して独自開発した「墨プリント」など、幅広い分野の特殊プリントを開発しています。



○なお、この他にも現在開発中の製品が多数ございます。今後もどうぞご期待ください。



レギュラー加工

- 吸水・速乾加工
- 蓄熱加工
- 清涼加工
- 芳香加工
- 花粉付着防止加工
- 帯電防止加工
- マイナスイオン加工
- 抗菌・防臭加工
- 硬仕上加工
- UVカット加工

- 保湿加工
- pHコントロール加工
- 超撥水加工
- 柔軟加工
- その他

特殊加工

- インディゴ抜染加工
- インディゴプリント加工
- 酸化・還元抜染加工
- ウォッシュアウト加工
- 各種コーティング加工

生産設備

連続式精練漂白機[3セット]
液流染色機[4台]
ロータリー捺染機[1台]
ヒートセット機[1台]
防縮機[3台]
水管ボイラー[重油(15トン)]

連続式染色機[2セット]
無地染色機[2台]
樹脂加工機[3台]
ジッカーチャー染色機[2台]
起毛機[4台]
貫流ボイラー[天然ガス(17.5トン)]

工業用水浄化装置2,000m³/日
漂白自動調合装置(CCB)
(Computer Control Bleaching)
染料自動計量装置(CCW)
(Computer Control Weighing)
還元液自動調合装置(CCR)
(Computer Control Reduction)

工場排水処理装置2,000m³/日
コンピュータ色合せ装置(CCM)
(Computer Color Matching)
染料自動調合装置(CCD)
(Computer Control Dyeing)
試用染液自動調液装置(CCK)
(Computer Color Kitchen)

新しいブランド展開へ CROSS BY CLOTH -生地による交流およびコラボレーション-

●国内織維産業の「キーインダストリー」として

X SANYO(クロス・サンヨー)とは、弊社のカジュアル加工と他社ファブリック・技術との組み合わせで出来た製品群の総称です。
CROSS(組み合わせる)とCLOTH(布地)、またコラボレーションによる効果が+(足算)ではなく×(掛算)になるという考え方のもと、キャッチコピー「CROSS BY CLOTH」を考案しました。
今後は、関連会社とのコラボレーション商品の展開をはじめとして、将来的には各産地の産元、製織業、縫製業の皆様にとって開かれた工場となり、積極的に商品開発を行ってまいります。
このVIとともに、私たちは常にアイデアの結合と化学反応を意識し新しい「コラボレーション商品」を生み出し続ける企業であることを目指します。

